



長和町・上田市組合立  
国保 依田窪病院

国保依田窪病院 広報誌

創刊号

依田窪病院だより

# 白樺

国保依田窪病院  
の理念

- Network Hospital
- 地域に密着した心あたたかな医療
- 地域の基幹病院として高度医療の実践

## 主な内容

『病院広報創刊にあたって』	
羽田組合長	2
母袋副組合長	2
三澤院長	3
寄贈の御礼	4
各部署の紹介「医局」	4

患者様からの声	5
施設の紹介	5
病院祭	6~10
外来診察担当医表	11
病院からのお知らせ	12



国保依田窪病院へのお問い合わせ

〒386-0603 長野県小県郡長和町古町2857

TEL 0268-68-2036 FAX 0268-68-2683

URL:<http://www.yodakubo-hp.jp> mail: [info@yodakubo-hp.jp](mailto:info@yodakubo-hp.jp)

平成18年7月15日発行

発行/国保依田窪病院

印刷/田口印刷株式会社

## 病院広報創刊にあたつて

依田産医療福祉事務組合

組合長

長和町長 羽田 健一郎



床、他に50床の老健施設を併設する地域医療の拠点に成長致しました。ここに至るまでには大勢の先達のご労苦と地域の皆様のご協力があつたことに深く思いをいたし感謝を申し上げたいと思います。

昨今、地方の公立病院を取り巻く状況は大変厳しいものがあります。医師の臨床研修制度が改正されたことに伴い医師が都市部に集中し、地方の病院では必要な医師数が確保できなくなつてきており

ます。加えて患者負担金の増、診療報酬額の引き下げ等、相次ぐ健保法や医療法の改正は病院経営に大きな影響を及ぼすものと懸念しております。しかしながら、私たちは厳しい環境の中にも地域の医療を守る使命感を持つて病院理念であります。新たなスタートを契機に、病院として地域の皆様に知つていただきたい情報を幅広く提供したいと考え広報紙を発刊することと致しました。

新上田市の誕生に伴い、依田産病院も長和町・上田市立の病院として力強く第一歩を踏み出したところです。新たなスタートを契機に、病院として地域の皆様に知つていただきたい情報を幅広く提供したいと考え広報紙を発刊することと致しました。

依田産病院は昭和30年、当時の長窪古町の町立国保診療所として発足し、昭和32年大門村、長久保新町、長窪古町の3町村の合併により長門町立古町病院そして昭和37年には長門町病院と改称し、昭和56年に武石村、和田村を加えた3ヶ町村立の依田産病院となりました。50年余にわたる幾多の変遷を経て現在は病床数140

依田産医療福祉事務組合

副組合長 上田市長 母袋 創一



本年三月六日に、新生上田市が発足しその初代市長として、旧武石村の事業を引き継ぎ、この五月十日より長和町長との互選により副組合長に就任させて頂きました。改めて責任の重さを痛感しております。

私は、最も重要な施策の一つである「人が健康で元気なまち創り」

を進めるためには、人々が生きがいを持って、いきいきと暮らすことができる社会を形成し、健康づくりや地域の医療体制の充実などを進め、併せて子育て・子育ち支援を進め、お育て頂きますようお願い致します。

新体制での新たな出発点に立ち、病院広報を創刊するに当たつて一言ご挨拶を申し上げますとともに

どが制度化され、介護予防の重視への転換がはかられるとともに、地域密着型サービスが新設されるなど、制度創設以来の抜本的改正となりました。又、医療制度改革関連法の成立で、十月以降、高齢者の皆さんや長期入院患者さんなど医療費の自己負担の増加が予想されています。このほか介護型療養病床十三万床の全廃や七十五歳以上を対象とした後期高齢者医療制度の創設も盛り込まれました。

新医師臨床研修制度などの影響もあり、産科医や小児科医の不足が全国的な課題となつていて、上田市でも産院存続問題や国立長野病院における常勤の麻酔科医の不在など、地域医療の確保は重要な課題となつております。依田産病院は、この地域の基幹病院の一つとして重要な役割を担つています。

しかしながら、地域医療などの体制整備に関し、地方自治体単独での対応には限界もあり、国・県・市町・民間それぞれが果たすべき役割を明確にしつつ、連携しながら最善の策を検討し前進してまいりたいと思つております。

この地域は、地形的にも、生活、経済などの面でも一体の地域です。地域の皆様の健康と福祉を守り發展させるために努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします

# 国保依田窪病院

院長 三澤 弘道



昭和56年に長門町、和田村、武石村の3町村の組合立病院として発足した依田窪病院は、本年3月の市町村合併により、長和町と上田市の組合立病院として再スタートを切りました。現在、病床数は開設時の100床から140床となり、診療科13科、常勤医師16名を含む職員は250名、この20年間に、町村や地域住民の皆様方の御理解と病院職員の努力により着実に発展してまいりました。病院以外にも付属和田診療所と老人保健施設「いこい」も併設し、依田窪医療福祉事務組合として運営に当たっています。『地域に密着した心あたたかな医療』、『地域の基幹病院として高念となつています。地域住民の皆様方が、安心して生活できる環境

を提供できるように、保健予防活動から救急医療にいたるまでネットワークホスピタルとして機能しています。また依田窪地域以外からも『選ばれる病院』となるために、医療の質を重視しています。第一に患者さんが安心してかかる安全な医療、第二に治療効果が優れている医療、第三に自己負担に見合った医療サービスの提供です。患者さんや家族の方々から満足し、感謝して頂ける医療を提供できるよう努力しています。

外来は他の公立病院が土・日曜日休診の週休2日制をとっている中、地域の方々や遠方より来院される患者さんに配慮した、毎週日・月曜日が休診日となる診療体制を平成15年7月から実施しております。学校や職場が休日となる土曜日は平均約400名の患者さんが来院されます。予約外で受診された患者さんの中には、「幾つかの診療機関で治療を受けたがよくならない」という患者さんが増加しております。各診療科では待ち時間を短縮するよりは、多少の待ち時間を費やしても病状や治療に関して十分に説明し、納得いただける質の高い医療を心がけております。

現在の建物は、平成12年に新築された6階建ての診療棟と平成17年3月に増築した4階建ての管理棟から構成されております。特に従来の260平方メートルから440平方メートルと大きなスペースにニューリアルされたりハビリ部門は、理学療法士13名、作業療法士6名体制で稼動しております。入院患者さんは休診日である日・月曜日でもリハビリを受けることができます。室内には最新式の医療機器が導入され、患者さんが一日も早く通常の生活に復帰するための訓練が行えるほか、平成18年2月には3階病棟から長和町営『いこいの丘公園』に向かって緊急時の避難路を兼ねた『ふれあい橋』が完成し、室内ばかりではなく緑に囲まれた清々しい環境の中で、有効なりハビリが出来るようになりました。

当院ではスピードイーな診療体制を図るためにより積極的なIT化を進め、平成13年にはオーダリングシステム、平成16年度には放射線画像デジタルシステムの導入が図られました。そして、本院には電子カルテの導入が予定されております。こうした個々の患者さんの個人情報は、個人情報保護方針の下、適正に管理しています。

私も依田窪病院に赴任してから20年経過し、今年は節目の年になります。今回、病院の広報誌を発刊するにあたり、院内の情報や現代の医療現場での出来事や新しい情報を、広く地域の皆様方に知りたいと存じます。現在、当院のような中小自治体立病院は、医師不足、経営難などにより存続の危機に瀕しております。職員個人も自己研鑽に努め、日々努力する所存であります。が、今後も依田窪病院をよろしくお願いします。



## ご寄贈の御礼

病院内にあります靈安室に、御靈安らかにとの思いの籠つた木彫りの菩薩像と水墨画をご寄贈いただきました。

木彫りの菩薩像は上田市下武石にお住まいの小林長賀さんから、水墨画は同じく鳥屋にお住まいの内田美貞さんからいただいたものです。紙上をもちまして心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



上田市下武石 小林長賀様  
『木彫りの菩薩像』

上田市武石鳥屋 内田美貞様 →  
『水墨画』



## 各部署の紹介

医局長 小澤 昭人



依田窪病院医局には、平成18年6月現在17名の常勤医がいます。内訳は、三澤院長はじめ整形外科6名（和田診療所を含む）、石橋管理者はじめ外科3名、麻酔科1名、泌尿器科1名です。この他に、非常勤医師として越知名譽院長が内科外来を担当（昨年までは常勤医師が担当）、小児科は信州大からの派遣により週3日外来を担当（昨年までは常勤医師が担当）、眼科は信州大からの派遣により外来、および手術を担当、皮膚科、耳鼻科、び学いを学んでおり、地域の方々に少しでもお来内



多くの医療を提供出来ますよう体制を整えております。  
この病院の医局の良いところは、各科ごとのまとまりが良いところだと思います。各医師がそぞれ高度の専門性を持ち、自分の専門領域の疾患を治療するのは当然ですが、患者さんが、自分の専門外の症状の訴えがあつても、他科への相談、紹介が非常にスムーズであることはなにより心強いところです。

地域住民の方々が安全、かつ高度な医療を受けられるようになります。これからも各科の連携を高めていきたいと思います。

## 患者様からの声

上田市塩田

青地 志げ子

小雨に濡れる鮮やかな紫陽花の花が眼に映える季節となりました。私がここ依田窪病院に入院して早、二十日が過ぎようとしています。私が依田窪病院にお世話になるのはこれまで3回目、今回は腰と股関節の痛みで受診したことがきっかけとなってあります。その時私の主人は4歳以上のお母さんと私が古くからの友人であります。その時私の主人は4歳以上の七十九歳、目が幾分不自由な以外はいたって健康です。昔人間の主人、台所仕事はいっさいしない人なので、三度の食事の支度は私の仕事、膝の悪い私は本当に辛い毎年でした。私は膝や腰が痛くなるのは年を取れば当然のこと、病気でないと思っていましたので、随分我慢をしておりました。しかし、痛みでどうにもならなくなり、結局この病院で膝の手術を受けることになりました。お蔭様で入院前あれほど痛かった膝の痛みはうそのようになり、もつと早く治療してもらえばと後悔致しました。その後今回を含めて二

回の入院、私は絶対に依田窪病院と決めておりました。それは、医師、看護師をはじめ病院職員皆さんとの患者に対する接遇、応対の素晴らしさからです。診察して下さる先生は私たち患者の話を嫌がらず、終わりまでよく聞いてくれますし、看護師さんは本当に親切です。今、私は四階病棟にお世話になっておりますが、この病棟の看護師さんの接遇、患者さんへの思いやりは言葉に言い表せないくらい素晴らしいです。それで3回目、今回は腰と股関節の痛みでの入院となりました。この病院にお世話になるきっかけは今から五年前、依田窪病院の整形外科の先生が依田窪病院にお世話になるのはこまでも、だれかでなく全員が同じ接し方、応対であることが何より感激です。普段何気なくかけて下さる言葉に勇気をもらい、夜間巡回で廻ってきた時にも優しい言葉をかけてくれます。私と同じ病室の患者さんも同じ気持ちのようで、どんな教育をしたらこんな素晴らしい看護師さんが育つんでしょうかね、と、そんな話題で持ちきりの毎日です。

お聞きしますと依田窪病院も三月から長和町と新上田市との組合立病院となつたとのこと、旧上田市出身の住民の一人として、この依田窪病院はこの地域の宝物であり、このようないい病院が地元にあることが誇りであると私は思います。これからも三澤院長先生を中心に、素晴らしい職員方が一丸となつて、患者さんの立場にたつた病院として益々発展することを心から願っています。



緊急避難路「ふれあい橋」公園側入口

## 施設の紹介 『ふれあい橋』

今年三月、病院三階病棟から町道を挟んで対岸に位置する長和町営「いこいの丘公園」に向かって架かる緊急避難用の橋『ふれあい橋』が完成しました。この橋は災害時、入院中の患者さんが車椅子のままでも安全に避難できるように完全バリアフリー化が図られています。普段は、いこいの丘公園を周遊する遊歩道を使つた野外リハビリ用の連絡道として利用して頂くほか、この橋の終点に造られた東屋は入院中の患者さんが緑に親しむ休憩場所として利用して頂いております。

この橋の特徴はなんと天井には赤松集成材を、天井には赤松板を使用し、そして床は利用する患者さんに優しい木の温もりを感じて頂くため縦、横十五センチ程の積み木状に仕上げた唐松材を敷き詰めてあります。病院のシンボルとなりますようにとの願いから付けられた名称は『ふれあい橋』、病院職員からの公募により名付けられましたが、この橋によつて患者さんと地元住民の方々との交流、ふれあいの場が生まれ、身心ともにリフレッシュが図れたらと思ひも籠められています。この橋の名前がひと目で分かるようと病棟側と公園側の入口には三澤院長直筆の木彫りの名板が掲げられております。

今、いこいの丘公園にある芝生広場は濃緑色のじゅうたんを一面に敷き詰めたようにそれは見事です。また、四季折々に咲く花々も心を和ませてくれます。

初夏の清々しい風の中、患者さんや公園を利用される住民の方々の楽しそうな笑い声が聞こえて来る毎日です。



オープニング  
セレモニー



# 病院祭

0回

ぐ病院になるために  
～依田窪病院 新たなる門出～



## 病院祭を終えて

広報部長 山口さおり

今年の病院祭は第20回という節目の病院祭であり、また2年ぶりの病院祭でもありました。そして殊に長和町・上田市組合立となって初めての病院祭でしたので、広報活動には特に力を入れました。メインテーマである「地域と地域をつなぐ病院になるために」の趣旨に添って、実行委員総出でポスター張りやチラシの配布を行い、広く住民の方々にアピールしてきました。

ポスター掲示にご協力をありがとうございました公共施設や事業所、商店の皆さんとの本当の温かいご配慮に感謝の気持ちで一杯になりました。大きなご支援を頂いた職員皆様に心から御礼申し上げますとともに、次回病院祭が更に素晴らしいものとなりますようお祈り申し上げます。有難うございました。

## オープニング セレモニー



石橋管理者の挨拶



三澤院長の挨拶



今井副院長の開会宣言



川妻実行委員長の挨拶

## 病院祭を終えて

実行委員長 川妻史明

第20回という節目でもある今回の病院祭は、メインテーマに「地域と地域をつなぐ病院になるために」を掲げ、3月に長和町・新上田市の組合立病院となつたことを契機とし、この地域以外の住民の方々にも当院をより身近に感じて頂きたいとの目的をもつての病院祭でした。地元、長門小学校のバンド演奏で幕を開け、新上田市、丸子西内小学校吹奏楽部の野外コンサート、閉めは新上田市武石の美ヶ原飛龍太鼓の演奏と、それぞれその地域を代表する出演者の方々に本当に温かいご協力を頂き、大いに盛り上がった病院祭でした。模擬売店でご協力頂いた長和町、武石村商工会青年部の方々の影の力も本当に大きなものでした。

それぞれのお立場で病院祭の運営にご尽力頂いた方々に心より感謝致します。有難うございました。



## 病院祭を終えて

副実行委員長 荒木高子

朝からあいにくの小雨模様となってしまった5月28日の日曜日、第20回依田産病院祭が開催されました。お天気になって！私ははじめ実行委員の気合！と熱意？の賀物か見事お天気が回復、西内小学校のプラスバンド演奏が始まる頃には青空の広がる絶好の病院祭日和となり、お客様の出足もますます、ほっと胸をなでおろしました。

今年は各職場ごとに思考を凝らした催し物が数多く行われました。金魚すくいや模擬店、マイクレッスンに歌・ダンスの披露、声楽家、狭間杜さんのコンサートなど沢山の好評を得ることが出来ました。地元、長門小学校のオープニング演奏には大勢の保護者の方々にもお越し頂きました。病院祭を盛り上げるためにそれぞれのお立場でご協力、ご支援頂きました職員皆様に心より感謝申し上げます。有難うございました。終わりに約半年に渡って病院祭実行委員としてご苦労頂いたスタッフの方々に御礼を申し上げます。お疲れ様でした。

## 体験コーナー



救急救命法講座



福祉機器展示



血圧脈波測定



シルバー世代の  
メイクレッスン



## エンターテインメント

勇壮で迫力  
のある美ヶ  
原飛龍太鼓  
のみなさん  
の演奏

### 病院祭を終えて

企画部長 桜井英尚

今年度の病院祭は20回を迎えた記念すべき病院祭でした。長和町、上田市合併後、初めての病院祭ということもあり、各地域と連携し素晴らしい企画が盛り沢山でした。また、職員も20時間耐久リレーマラソンに挑み、団結力を深めることができたと思います。今後も地域のための病院祭として更に盛り上がるよう努力していきたいと思います。

### 病院祭を終えて

運営部長 舟久保隆洋

地域の病院として新たなスタートを切る！そんな目的をもって開催された今年の病院祭、これからも地域の方々に病院を支えて頂きたいとの趣意から、多くのボランティアの皆さんにもご参加、ご協力頂きました。当日、あいにくの雨模様のため会場変更などで多少のご迷惑をお掛けしましたが、各団体の方々や実行委員、そして病院職員の皆さんの大きなご支援により、無事病院祭を終えることができました。有難うございました。

来年、第21回病院祭がより盛大に開催されますことをお祈り致します。



メイン  
会場

依田産南部消防署協賛による緊急車両展示  
南側駐車場からのメイン会場の様子



長和町・武石商工会による売店の様子



院長もエプロン姿でお手伝い



子供たちに好評だった金魚すくいの様子



上田市立丸子西内小学校によるプラスバンド演奏

雨のため演奏会場が変更になりながらの演奏ありがとうございました

## 20時間耐久リレーマラソン



出場選手の紹介



深夜の快走 市川先生



快調に走る 三澤先生



深夜 スタッフと選手との記念撮影



20時間リレーマラソンのゴールの様子  
最終ランナーの三澤院長と出場選手



ゴール後の記念撮影

20回目の病院祭を記念して行った「20時間耐久リレーマラソン」は初め5人で走る予定でした。しかし、私たちの趣意に賛同してくれた“心ある友情ランナー”的応援で結果的には30人で、実に234周を走破することができました。

深夜の睡魔、降りしきる雨はちょっぴり辛かったけれど、多くの方々の声援、激励に支えられ無事ゴールテープを切ることができました。

感謝の心とともに大きな使命感、達成感に満ち溢れた体験でした。ご協力本当に有難うございました。

20時間耐久リレーマラソンリーダー 検査科 金井 昭憲

20時間で234周  
を達成しました。  
みなさまのご声援  
ありがとうございました。

## 外来診察担当医表（平成18年7月1日現在）

国保依田癌病院  
TEL 0268-68-2036

	火	水	木	金	土
内 科	1診	今井	越知	今井	横山
	2診	竹中	市川	竹中	越知
	3診	山浦	山浦	三澤（知） (10時～11時)	市川
	4診		信大		信大 (循環器)
	内科予約 (午後)		横山 (第2/4週)	山浦・横山	
	神經膠原病内科		第2・4金曜午後2時～ (予約又は紹介患者)		高
	呼吸器外来		信大	毎週水曜日 (予約のみ)	
	肝臓外来		第2・4土曜日 (予約のみ)		田中
	心臓血管外来	第3木曜日午前10時～ (予約又は紹介患者)	津田		
高齢者総合外来		毎週土曜日 (予約のみ)			石橋
生活習慣病外来		毎週金曜日午前 (予約のみ)	川妻		
外 科	1診	石橋	小澤	小澤	小澤
	2診		三澤（俊）		三澤（俊）
	予約のみ (午後)	石橋			石橋
整 形 外 科	予約外 (医師2名)	太田・堤本	堤本	太田	下形
		予約外医師			予約外医師
	予約のみ	下形 荻原	吉村 太田 三澤	下形 姜 三澤	堤本 太田
	脊椎外来 (午後・予約)		三澤		三澤
	関節及び 骨軟部腫瘍 (午後・予約)			太田	
小　兒　科	信大		信大		信大
泌　尿　器　科	古清水	古清水(※2)		古清水	古清水
皮　膚　科		久保			
眼　科	信大		信大	信大	信大
耳　鼻　咽　喉　科					信大
脳　外　科	毎週金曜日	受付午後1:30～2:30		信大(※3)	

日曜祝祭日・毎週月曜・年末年始・1月15日は休診日です。

※診察受付時間・・・午前7時30分～午前11時30分

お薬受付時間・・・午前7時30分～午後12時30分

※月に1度、保険証の提示をお願いします。

70歳以上の患者様は、高齢受給者証又は、老人医療受給者証も一緒にお願いします。

※医師の都合、また緊急手術等により休診、代診になる場合があります。

※ 緑部分は初診以降の予約料です。

※現在、他院受診中の患者様は、当院受診の際に、円滑な診療を行えるよう、かかりの医院・病院の紹介状（診療情報提供書）をお持ちいただくことをお勧めします。

(※1) 整形外科：三澤医師の初診外来診察（土曜午前）は、脊椎関連疾患の患者様で、他の医療機関より三澤医師宛の紹介状をお持ちの方に限らせていただいています。診察は完全予約制となっておりますので、火～土曜日の9:00～17:00にお電話（0268-68-2036）にて予約をお取りください。（大変混雑しておりますので、ご希望の日に予約が取れない場合がございます。ご了承下さい。）

(※2) 泌尿器科：水曜日の午後は予約のみとさせていただきます。

(※3) 脳外科：受付は毎週金曜日の午後1:30～午後2:30です。



患者さんが緑と親しむ憩いの場「東屋」と「ふれあい橋」

病院からのお知らせ

・診察券をお持ちの方でも月初めには必ず保険証をご持参され、受付にご提出頂きますようお願い致します。また、老人保険者証等をお持ちの方も、受付時に一緒にご提出下さい。

・月の途中でも保険証が変わった場合は速やかに変更の手続きをお願いします。

・個人情報保護法上、お電話にての入院患者様に関する情報のお問い合わせは、一切お受けできませんのでご了承下さい。



今年の梅雨は空梅雨ぎみとのこと、そんな影響か、花菖蒲や紫陽花といった初夏を彩る花々の開花が遅れ、咲いた花もいまひとつ鮮やかさに欠けるなど異常気象が気にかかり、今後の雨量によつては、農作物の生育への影響も心配される昨今です。

この三月、当院は長和町・新田市の組合立病院として新たなスタートを切りました。これを契機に、病院内の出来事や医療に関する情報をより詳しくお伝えするため依田窪病院だより『白樺』を発行することになりました。白樺はご存知のように清く澄み渡つた青空をバックに映える、この地域に似合いの木です。長和町の姫木平や上田市武石の美ヶ原高原の白樺林の美しさは殊に素晴らしいものです。これにあやかりまた、白衣を表す白と爽やかさのイメージから『白樺』と名付られました。

この依田窪病院だより『白樺』が地域の方々に愛読され、そして当院を更に身近に感じて頂くための広報誌となりますよう一層の努力をしてまいりますので、どうかよろしくお願ひ致します。

## 編集後記